

内容評価基準報告書

評価	A-1-(1) 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している
【講評】 5月は『鯉のぼり』7月には『カービーの星の七夕かざり』など、毎月テーマを決めた制作などを用意して、子どもたちが楽しく通える工夫をしています。これらの工作は、やりたくない子どもには無理強いせず、学年に応じて色を塗るだけにするなど難易度も変え、発達に応じて取り組めるようにしています。フリーに活用できる別室があり、体調の悪い子やパーソナルスペースが必要な子、トラブルがあった時に落ち着くまで過ごせるようにするなど、子どもたちの心の安心、安全を守るためにも使われています。	
評価	A-1-(2) 放課後児童クラブにおける育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している
【講評】 毎月の目標や行事予定を掲載した『学童だより』を発行しています。けん玉遊びやサッカー、ドッチボールなどの外遊び、制作など学童クラブでの子どもたちの様子も記載して、保護者に伝え安心して通えるようにしています。7月の学童だよりでは別紙で夏休みの予定や過ごし方、用意するものなども伝えて期待が持てるようにしています。習い事などの都合で退所してしまった子どもが顔を見せに来ることもあり、話し相手になるなど寄り添う対応をしています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②子どもの出欠席を把握し、適切に援助している
【講評】 電話で欠席の連絡を受けた職員は、全職員に声をかけて共有し、降所ボードの欠席欄に子どもの名前を移動しています。電話のときには電話帳を置き、受けた電話の内容はすぐに記載して共有のし忘れなどを防いでいます。学校で居残りなどがある場合には担任から連絡が来たり、大雨で帰宅待機になった時などには先生と一緒に学童クラブまで連れてきてくれるなど、学校の先生との連携も図れています。連絡帳などで事前に伝えられた欠席予定などについては、職員用の連絡ノートにも記録を残しています。	
評価	A-1-(3) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している
【講評】 子どもたち一人ひとりが無理なく主体的に過ごすことができるように、行事以外の日にはおやつや宿題、自由遊びの時間などを決めないフリーディとして、時間の管理が自分で行えるようにしています。おやつを食べるテーブルや本を読むテーブル、学習をするテーブルなど、折り畳み式の三角表示を立ててコーナーを分け、子どもたちが自由に移動して過ごせるように工夫しています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②日常生活に必要となる基本的な生活習慣を習得できるように援助している
【講評】 「自分の引き出しや棚の整理をする」「宿題をやったらチェック表に記入する」などクラブ内で行ってほしいことなどについては、その都度ホワイトボードに記載して子どもたちに伝えています。また、日差しの強いときには帽子をかぶることや、太陽を浴びることが体に良いことなどを伝えて外遊びを促すなど、子どもたちの生活習慣の向上を図る取り組みをしています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	③子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している
【講評】 絵本や漫画、ブロック、ボードゲームカルタなど1年生から楽しめる遊具がきちんと整理されて配置されています。収納場所がきちんと表示されて、子どもたちは使ったものを元の場所に戻せるように配慮されています。発達や行動が気になる子どもたちについては、日々適切に記録を残して全職員で共有することで、未然にトラブルを防げるように工夫しています。フリーに使用できる別室があり、パニック状態になった時などには職員がついて落ち着くまで1人で過ごせるようにしています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	④子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している

【講評】 4月に新1年生を迎え入れる際には、進級した新3年生が中心となり荷物整理の仕方などを教えてくれるなど、進んで小さい子どもたちとの関係性づくりができるようにしています。本棚の整理当番を班ごとに行うなど、異学年で一緒に行動できる機会も作っています。学校でのトラブルをそのまま引きずって来所した際などには、クラスの担任と連携して保護者に連絡を取るなど、職員が間に入って早期対応に努めています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	⑤子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している
【講評】 けん玉やコマ、オセロなど行事の一環として大会なども実施していますが、参加は自由意志でやりたくない子どもには無理強いをしないようにしています。毎年夏休みの最終日に実施している『サマーハッピーデー』では、3年生を中心にコーナーの名称や景品の内容などについて、子どもたちと一緒に話し合って決めています。今後は、毎月学童だよりに掲載している今月の目標を子どもたちと話し合って決めるなど、さらに子どもの意見を日々の生活に取り入れていく取り組みにも期待します。	
評価	A-1-(4) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている
【講評】 障害の有無にかかわらず、受け入れの判断や決定は全て市が行っています。特に個別の支援が必要な場合には、事前に市から申し送りがあったり、入所の際の面談で保護者から伝えられることもありますが、入所後に職員が気がつく場合が多く、急に大声を出すなど、子どもたちの気になる行動については日々記録に残して全職員で支援のあり方を共有しています。必要に応じて保護者に家での過ごし方なども確認し、円滑な集団生活が送れるようにしています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている
【講評】 毎月の指導計画や職員会議記録には、個別支援についての記録がいていないに記載されています。必要に応じて個別の場面記録なども作成し、毎年1回法人本部や大学の先生などが参加する事例検討会も実施しています。子どもの困った行動には理由があるとの考え方にに基づき、その行動に至る状況などを保護者とも共有して対応の仕方を検討しています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	③特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている
【講評】 家庭における不適切な養育環境などについて職員が気になった際には、まずは職員間で共有して確認し、法人を通して子ども家庭支援センターなどと連携しています。家庭内における問題は子どもも保護者も話しにくいことも多く、課題が大きくなってから表面化する場合があることに配慮して、職員がさらに敏感になることも期待します。	
評価	A-1-(5) 適切なおやつや食事の提供
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①放課後の時間帯におやつを適切に提供している
【講評】 行事等がないフリーデーでは、子どもたちが自主的な判断で好きな時間におやつを食べられるようにしています。1つの箱に4種類程度のおやつが入った箱を3つ程度用意して、それぞれの箱の中から好きなものを1つずつ選ぶことができるバイキング形式なども取り入れています。おにぎりなどが全部食べられない時には、半分にして提供するなど、子どもたち一人ひとりの様子に配慮しています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）を防止するための対応を行っている

【講評】

食物アレルギーを持つお子さんのおやつはお皿を分けて提供し、食べたものは毎日個人別に記録を残しています。誤嚥や誤食等の事故が起こらないように、日直の職員がおやつテーブルについて見守るようにしています。食物アレルギー対応マニュアルや救急受信ガイドなどの手引き書を事務室の机において、事故があった場合の対応の仕方等を全職員が一読して備えています。

評価

A-1-(6) 安全と衛生の確保

あり なし

①子どもの安全を確保する取組を行っている

【講評】

最寄りの警察署で作成している『おまわりさんとのやくそく』や『いかのおすし』、避難のときの決まり事などを掲示して、子どもたち自身に自分の命を守るために必要なことなどについての指導を行っています。事務室内には、職員一人ひとりの職務分担と合わせて物品の安全管理や災害時の役割分担なども明記した一覧表を掲示するなどの取り組みもしています。さらに降所後の子どもたちの安全にも気を配るために、地域と連携した取り組みなどにも期待します。

あり なし

②衛生管理に関する取組を適切に行っている

【講評】

朝は床やロッカー、外回りなど、夕方はトイレや机、いすなどと、日々分担して清掃を行っています。毎月の指導計画（月案）の中にも『健康衛生』という項目を設けて、子どもたちへの手洗いやうがい、水分補給などの声掛けの他にも、換気、消毒などの衛生管理に努めています。おもちゃをしまう棚には場所を明記して片付けやすくしたり、3年生が自主的にポスターを作成して元の場所に戻すことを促すなどを意識づける取り組みもしています。

評価

A-2-(1) 保護者との連携

あり なし

①保護者との協力関係を築いている

【講評】

保護者有志から、長期休み中に仕出し弁当が注文できるようしたいという申し出に対して、話し合いの場の提供や業者選び、試食会の開催、案内の配布等の協力を行い今年度より実施できるようになりました。保護者会の際には、今、はまっていることなどのテーマを決めて一人一言の時間を設けるなど、保護者同士が交流できるように工夫しています。今後は、親子で一緒に参加できるような行事の企画など、子どもたちの日頃の様子が保護者と共有できるような取り組みにも期待します。

評価

A-2-(2) 学校との連携

あり なし

①子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている

【講評】

事務スペースには、校長、副校長先生を始め1年生から6年生までの全ての担任の顔写真やクラス別の児童名簿、学年だよりなどを掲示して、学校の様子を知ろうと努力する様子が見て取れます。また、毎月学度だよりを学校に届けるタイミングで、副校長に意識的に話しかけて日頃からの情報交換を図っています。給食があまり食べられなかったなど、気になることがあった時には、担任が様子を伝えに来てくれるなどの連携が図られています。

評価

A-3-(1) 子どもの権利擁護

あり なし

①子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている

【講評】

フリーデーや自己申告による学習チェックなど、子どもたちが自分で選び、自分で決めて行動できるようにするなど、子どもの権利擁護に配慮しています。また、地域の他団体が実施している『自分となかよし大作戦』をクラブ内で行い、自分の権利（気持ち）を大切にすることなどについても伝えていきます。日々の反省会の中で職員の言葉使いなどについても話し合い、子どもが安心して「イヤ」と言える雰囲気づくりを心掛けています。